

水俣で実態調べる

経企庁
など 水銀中毒の調査団

経済企画庁を中心とした水銀中毒の実態調査団の一行が四日午後

二時五十四分水俣駅着下り特急

「はやぶさ」で来水した。

一行は経企庁水資源局の田口勝

久技官、厚生省環境衛生局の小島

廣平技官ら経企庁、厚生省、通産

省、水産庁などの各首庁の担当官

九人。調査の目的は水俣、阿賀之

川（新潟）両水銀中毒事件の結果

に基づきアセチレンを原料として

アセトアルデヒドを製造している

工場および関連水域について公共

用水域の水質検査、保健衛生の立

ち場から水銀についての実態調査

を行なうもので、十二月末までの

間に六、八、十、十二の各月に調

査団が現地調査を行ない、来年三

月末までにこの結果をまとめるこ

とになっている。

全国で調査の対象となっている

工場は新潟県のタイヤル新居工

場、電気化学青海工場、チッソ水

俣工場の三カ所で、すでに新潟県

は六月には第一回の調査が終わっ

ている。

今度の調査は五、六の両日にわ

たってチッソ水俣工場の排水施設

を中心に廃水処理などを調べるほ

か、廃水は廃棄物、河川水、海

水、汚泥土などを採取し、東京に持ち帰って分析する。

第二陣は経企庁から委嘱された

衛生研究所が中心になって来月来

水することになっている。